

令和6年度 事業報告書

学校法人 武蔵野大学

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人の名称：学校法人武蔵野大学

主たる事務所の住所、電話番号、ホームページアドレス

東京都江東区有明三丁目3番3号

03-5530-7333（代表）

<https://ef.musashino-u.ac.jp/>

(2) 建学の精神

この法人は、仏教精神並びに教育基本法及び学校教育法に従い、有為の女子を育成すると共に男女共同参画社会の実現に資する教育及び幼児教育を行うことを目的とする。

(3) 学校法人の沿革

大正13（1924）年 築地本願寺境内に「武蔵野女子学院」創設。

昭和02（1927）年 武蔵野女子学院高等女学校設立。

昭和04（1929）年 保谷村（現：西東京市、現在の武蔵野キャンパス）に移転。

昭和22（1947）年 新学制により武蔵野女子学院高等女学校は
武蔵野女子学院中学校、武蔵野女子学院高等学校となる。

昭和25（1950）年 武蔵野女子短期大学設立。

昭和29（1954）年 武蔵野女子短期大学を武蔵野女子学院短期大学に名称変更。

昭和40（1965）年 武蔵野女子大学設立。
武蔵野女子学院短期大学を武蔵野女子大学短期大学部に名称変更。

昭和42（1967）年 武蔵野女子学院幼稚園設立。

昭和61（1986）年 武蔵野女子学院幼稚園を武蔵野女子大学附属幼稚園に名称変更。

平成11（1999）年 武蔵野女子大学大学院設立。

平成15（2003）年 武蔵野女子大学を武蔵野大学に、武蔵野女子大学附属幼稚園を武蔵野大学
附属幼稚園に名称変更。

平成16（2004）年 武蔵野大学男女共学化。

平成18（2006）年 武蔵野女子大学短期大学部を廃止。

平成24（2012）年 学校法人武蔵野女子学院を学校法人武蔵野大学に名称変更。
江東区有明に有明キャンパスを開設。

平成28（2016）年 学校法人武蔵野大学と学校法人千代田女学園が法人合併。

平成29（2017）年 武蔵野大学附属慈光保育園設立。

平成30（2018）年 千代田女学園高等学校を男女共学化し、武蔵野大学附属千代田高等学院に
名称変更。

令和元（2019）年 武蔵野女子学院中学校・高等学校を武蔵野大学中学校・高等学校に名称変更し、
武蔵野大学中学校を男女共学化。

令和2（2020）年 武蔵野大学高等学校を男女共学化。武蔵野大学附属有明こども園設立。

令和4（2022）年 千代田女学園中学校を男女共学化し、千代田国際中学校に名称変更。

(4) 設置する学校・学部・学科等

(令和6年5月1日現在)

設置校		研究科・学部等	専攻・学科等	
武蔵野大学	大学院	文学研究科	日本文学専攻（修士課程/博士後期課程）	
		言語文化研究科	言語文化専攻（修士課程/博士後期課程）	
		法学研究科	ビジネス法務専攻（修士課程/博士後期課程）	
		政治経済学研究科	政治経済学専攻（修士課程/博士後期課程）	
		経営学研究科	会計学専攻（修士課程）	
		データサイエンス研究科	データサイエンス専攻（修士課程/博士後期課程）	
		人間社会研究科	人間学専攻（修士課程/博士後期課程） 実践福祉学専攻（修士課程）	
		仏教学研究科	仏教学専攻（修士課程/博士後期課程）	
		工学研究科	数理工学専攻（修士課程/博士後期課程） 建築デザイン専攻（修士課程）	
		環境学研究科	環境マネジメント専攻（修士課程） 環境システム専攻（博士後期課程）	
		教育学研究科	教育学専攻（修士課程）	
		薬科学研究科	薬科学専攻（修士課程/博士後期課程）	
		看護学研究科	看護学専攻（修士課程/博士後期課程）	
		通信教育部 人間社会研究科	人間学専攻（修士課程） 実践福祉学専攻（修士課程）	
		通信教育部 仏教学研究科	仏教学専攻（修士課程）	
		通信教育部 環境学研究科	環境マネジメント専攻（修士課程）	
		大学	文学部	日本文学文化学科
			グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科 グローバルビジネス学科
	法学部		法律学科 政治学科	
	経済学部		経済学科 経営学科　[平成31年度募集停止]	
	経営学部		経営学科 会計ガバナンス学科	
	アントレプレナーシップ学部		アントレプレナーシップ学科	
	データサイエンス学部		データサイエンス学科	
	人間科学部		人間科学科 社会福祉学科	
	☆ ウェルビーイング学部		ウェルビーイング学科	
	● 工学部		サステナビリティ学科 環境システム学科　[令和5年度募集停止] 数理工学科 建築デザイン学科	
	教育学部		教育学科 幼児教育学科	
	薬学部		薬学科	
	看護学部		看護学科	
	通信教育部 人間科学部		人間科学科	
	通信教育部 教育学部		教育学科	
	専攻科（言語聴覚士養成課程）			
	別科（日本語教育課程、介護福祉士養成課程）			
	武蔵野大学高等学校　　全日制課程普通科			
	武蔵野大学中学校			
	武蔵野大学附属千代田高等学院　　全日制課程普通科			
	千代田国際中学校			
	武蔵野大学附属幼稚園			
	●武蔵野大学附属慈光保育園（企業内保育所）			
	武蔵野大学附属有明こども園			

●募集停止 ☆令和6年度開設

(5) 学校・学部・学科等の学生等数の状況

(令和6年5月1日現在/単位:人)

設置校	研究科・学部等	専攻・学科等	入学(園)定員	入学(園)者数	収容定員	在学(園)者数
大学院	文学研究科	日本文学専攻（修士課程）	7	3	14	11
	言語文化研究科	言語文化専攻（修士課程）	55	23	110	58
	法学研究科	ビジネス法務専攻（修士課程）	10	6	20	9
	政治経済学研究科	政治経済学専攻（修士課程）	10	2	20	4
	経営学研究科	会計学専攻（修士課程）	10	5	20	16
	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻（修士課程）	10	10	20	20
	人間社会研究科	人間学専攻（修士課程）	30	25	60	50
		実践福祉学専攻（修士課程）	7	5	14	8
	仏教学研究科	仏教学専攻（修士課程）	5	0	10	2
	工学研究科	数理工学専攻（修士課程）	15	14	30	22
		建築デザイン専攻（修士課程）	15	6	30	16
	環境学研究科	環境マネジメント専攻（修士課程）	10	9	20	15
	教育学研究科	教育学専攻（修士課程）	10	5	20	11
	薬科学研究科	薬科学専攻（修士課程）	5	0	10	0
	看護学研究科	看護学専攻（修士課程）	10	1	20	4
	修士課程 計		209	114	418	246
	文学研究科	日本文学専攻（博士後期課程）	2	1	6	2
	言語文化研究科	言語文化専攻（博士後期課程）	2	2	6	3
	法学研究科	ビジネス法務専攻（博士後期課程）	3	0	9	4
	政治経済学研究科	政治経済学専攻（博士後期課程）	3	0	9	0
	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻（博士後期課程）	3	1	9	7
	人間社会研究科	人間学専攻（博士後期課程）	3	1	9	8
	仏教学研究科	仏教学専攻（博士後期課程）	2	1	6	3
	工学研究科	数理工学専攻（博士後期課程）	2	0	6	0
	環境学研究科	環境システム専攻（博士後期課程）	2	0	6	3
	薬科学研究科	薬科学専攻（博士後期課程）	5	4	15	6
	看護学研究科	看護学専攻（博士後期課程）	3	1	9	7
	博士後期課程 計		30	11	90	43
	大学院 計		239	125	508	289
	大学	文学部	日本文学文化学科	200	200	815
グローバル学部		グローバルコミュニケーション学科	165	168	666	532
		日本語コミュニケーション学科	80	89	330	320
		グローバルビジネス学科	55	73	234	248
法学部		法律学科	190	244	769	800
		政治学科	100	120	409	423
経済学部		経済学科	175	233	709	800
経営学部		経営学科 ※ 1	-	-	-	1
		経営学科	220	266	889	939
		会計ガバナンス学科	90	105	360	383
アントレプレナーシップ学部		アントレプレナーシップ学科	60	64	240	239
データサイエンス学部		データサイエンス学科	90	116	360	400
人間科学部		人間科学科	215	255	866	953
		社会福祉学科	145	149	592	541
ウェルビーイング学部		ウェルビーイング学科	80	90	80	90
工学部		サステナビリティ学科	70	75	140	152
		環境システム学科 ※ 2	-	-	140	144
		数理工学科	60	71	240	246
		建築デザイン学科	70	94	280	322
教育学部		教育学科	120	160	480	510
		幼児教育学科	100	100	400	392
薬学部		薬学科	145	141	900	811
看護学部		看護学科	125	142	500	498
大学 計		2,555	2,955	10,399	10,567	
通信教育部	大学院 人間社会研究科	人間学専攻（修士課程）	60	71	120	232
		実践福祉学専攻（修士課程）	10	11	20	31
	大学院 仏教学研究科	仏教学専攻（修士課程）	20	6	40	49
	大学院 環境学研究科	環境マネジメント専攻（修士課程）	10	6	20	33
	大学 人間科学部	人間科学科 ※ 3	250	536	2,400	2,756
	大学 教育学部	教育学科 ※ 4	15	15	225	121
通信教育部 計		365	645	2,825	3,222	
専攻科（言語聴覚士養成課程）		30	15	60	23	
別科（日本語教育課程）		90	58	90	148	
別科（介護福祉士養成課程）		40	4	80	6	
武蔵野大学高等学校		400	382	1,200	1,064	
武蔵野大学中学校		250	199	750	550	
武蔵野大学附属千代田高等学院		200	113	600	306	
千代田国際中学校		100	68	300	220	
武蔵野大学附属幼稚園		96	76	288	245	
武蔵野大学附属慈光保育園 ※ 5		-	-	6	6	
武蔵野大学附属有明こども園		80	63	280	227	

※ 1 平成31年度経営学部経営学科に改組
 ※ 2 令和5年度工学部サステナビリティ学科に改組

※ 3 3年次編入学定員700人
 ※ 4 2年次編入学定員55人
 ※ 5 令和6年度募集停止

(6) 収容定員充足率

(令和6年5月1日現在/単位:人・%)

区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率
武蔵野大学大学院	464	304	65.51	479	304	63.46	497	302	60.76	505	277	54.85	508	289	56.88
武蔵野大学	9,832	9,200	93.57	10,260	9,698	94.52	10,278	9,872	96.04	10,306	9,985	96.88	10,399	10,567	101.61
武蔵野大学大学院通信教育部	200	332	166.00	200	334	167.00	200	334	167.00	200	342	171.00	200	345	172.50
武蔵野大学通信教育部	2,638	2,947	111.71	2,606	3,076	118.03	2,574	3,273	127.15	2,627	3,190	121.43	2,625	2,877	109.6
専攻科 (言語聴覚士養成課程)	60	24	40.00	60	29	48.33	60	26	43.33	60	17	28.33	60	23	38.33
別科 (日本語教育課程、介護福祉士養成課程)	130	88	67.69	170	77	45.29	170	80	47.05	170	136	80.00	170	154	90.58
武蔵野大学高等学校	1,200	876	73.00	1,200	909	75.75	1,200	1,004	83.66	1,200	935	77.91	1,200	1,064	88.66
武蔵野大学中学校	750	375	50.00	750	480	64.00	750	530	70.66	750	519	69.20	750	550	73.33
武蔵野大学附属千代田高等学院	600	529	88.16	600	576	96.00	600	502	83.66	600	363	60.50	600	306	51.00
千代田国際中学校							100	74	74.00	200	171	85.50	300	220	73.33
武蔵野大学附属幼稚園	288	273	94.79	288	238	82.63	288	231	80.20	288	225	78.12	288	245	85.06
武蔵野大学附属慈光保育園	12	12	100.00	12	12	100.00	12	11	91.66	12	12	100.00	6	6	100.00
武蔵野大学附属有明こども園	280	178	63.57	280	246	87.85	280	251	89.64	280	239	85.35	280	227	81.07
総計	16,454	15,138	92.00	16,905	15,979	94.52	17,009	16,490	96.94	17,198	16,411	95.42	17,386	16,873	97.04

(7) 役員の概要

定数(理事): 12名以上16名以内 現員数: 15名

定数(監事): 2名 現員数: 2名

(令和6年5月1日現在)

種別	氏名	就任年月日	常勤・非常勤	業務執行・非業務執行	現職等
理事	長野 了法	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学理事長
	山崎 秀保	令和3年5月24日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学経営企画担当常務理事
	西本 照真	平成28年4月1日	常勤	業務執行	武蔵野大学長
	落合 恒	令和3年1月29日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学大学経営担当常務理事
	中村 好孝	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学中高等経営担当常務理事
	横山 尚佳	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学事務局長
	荒川 智行	平成25年2月14日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派信行寺住職
	中尾 史峰	令和4年8月26日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派築地本願寺代表役員宗務長
	池田 行信	令和2年11月19日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派東京教区選出宗会議員
	小林 泰善	令和4年4月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派東京教区教区会議長
	平田 史郎	平成24年10月1日	非常勤	非業務執行	学校法人平田学園理事長
	白川 了信	平成24年6月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派法円寺衆徒
	若原 雄昭	令和4年7月26日	非常勤	非業務執行	龍谷大学名誉教授
	石上 智康	平成4年6月16日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派君津光明寺住職
監事	大河原 遼平	令和2年6月1日	非常勤	非業務執行	弁護士
	斯波 照雄	令和4年4月1日	非常勤	非業務執行	中央大学名誉教授
	佐藤 研司	令和5年6月1日	非常勤	非業務執行	龍谷大学名誉教授

責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況
【契約名称】 会社役員賠償責任保険 【被保険者】 役員（理事16名、監事2名 寄附行為上の定数） 【契約内容】 被保険者が役員としての業務につき行った行為（不作為を含む）に起因して保険期間中に被保険者に対して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害に対して保険金の支払いが行われる。 【支払対象】 法律上の損害賠償責任に基づく賠償金、損害賠償請求に関する争訟によって支出した訴訟費用、弁護士報酬等の費用。 【限度額】 5億円 【契約期間】 令和6年5月1日午後4時 ～ 令和7年5月1日午後4時 【契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置】 当該保険契約の被保険者は本学の理事及び監事であり、すべての被保険者について、その保険料を全額本法人が負担している。

(8) 評議員の概要

定数：28名以上34名以内

現員数：31名

(令和6年5月1日現在)

氏名	就任年月日	現職等
原田 豊	令和6年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校校長
木村 健太	令和5年4月1日	武蔵野大学附属千代田高等学院校長、千代田国際中学校校長
石上 和敬	令和2年7月1日	武蔵野大学附属幼稚園園長
渡邊 光一	令和6年4月1日	武蔵野大学附属有明こども園園長
上岡 学	令和2年6月1日	武蔵野大学副学長
小西 聖子	令和3年4月1日	武蔵野大学副学長
北條 英勝	令和2年6月1日	武蔵野大学副学長
村松 陸雄	令和2年6月1日	武蔵野大学教務部長
伊藤 泰彦	令和2年6月1日	武蔵野大学学生部長
小村 光子	令和5年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校教頭
岡田 孝子	平成28年6月14日	武蔵野大学附属千代田高等学院教頭
本橋 一聰	令和3年1月29日	学校法人武蔵野大学事務局次長
長野 了法	令和2年6月1日	学校法人武蔵野大学理事長
西本 照真	令和5年5月25日	武蔵野大学長
池田 行信	令和2年7月1日	浄土真宗本願寺派東京教区選出宗会議員
若原 雄昭	令和4年5月26日	龍谷大学名誉教授
柳川 信澄	平成9年4月1日	—
藤谷 光信	平成19年4月1日	岩国南幼稚園学園長
安永 雄彦	平成29年11月20日	浄土真宗本願寺派本願寺執行長
平山 眞見	令和3年4月1日	武蔵野大学同窓会会長
牛田 きぬ	令和3年4月1日	武蔵野大学同窓会副会長
阿部 美枝子	平成25年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校同窓会顧問
斧田 留美	令和4年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校同窓会会長
長谷川 智子	令和4年4月1日	千代田同窓会会長
小林 泰善	平成19年6月1日	浄土真宗本願寺派東京教区教区会議長
白川 了信	平成24年6月1日	浄土真宗本願寺派法円寺衆徒
吉國 眞一	平成20年6月1日	株式会社サンテック社外監査役
西原 祐治	平成23年6月1日	宗教法人西方寺（浄土真宗本願寺派）代表役員
東森 尚人	令和3年11月26日	浄土真宗本願寺派築地本願寺副宗務長
松下 昌文	令和4年4月1日	浄土真宗本願寺派宗派・勸学寮部長
石上 城行	令和5年5月25日	埼玉大学教育学部教授

(9) 教職員の概要

令和6年度教職員数

(令和6年5月1日現在／単位：人)

		法 人	大 学 ※1	武蔵野大学 高等学校	武蔵野大学 中学校	武蔵野大学 附属千代田 高等学院	千代田国際 中学校	武蔵野大学 附属幼稚園	武蔵野大学 附属有明 こども園	武蔵野大学 附属慈光 保育園	計
教 員	専任	教 授		188							188
		准 教 授		86							86
		講 師	※2	72							72
		助 教		27							27
		助 手		7							7
		教 諭			56	23	29	17	11	31	167
		常 勤 講 師			1			3			4
		計		380	57	23	29	17	14	31	551
	非常勤	講 師 (客員を含む)		847	20	16	8	8			899
		委託・派遣		86	4	2					92
		計		933	24	18	8	8			991
	合 計			1,313	81	41	37	25	14	31	1,542
職 員	専任	事 務 職 員	※3	8	※4	240	8		4	1	267
		実 習 助 手									
		特 別 研 究 員		2							2
		外 国 語 指 導 助 手				1	1	1			3
		保 育 士								2	2
		嘱 託		38	5				1		44
		計	8	280	13	1	5	1	2	5	318
	非常勤	嘱 託		125	10		2	1	21	21	188
		計		125	10		2	1	21	21	188
	合 計		8	405	23	1	7	2	23	26	506
総 計			8	1,718	104	42	44	27	37	57	2,048

※1 大学に通信教育部教職員を含む。

※2 出向受入者3名を含む。

※3 出向者1名を含む。

※4 出向受入者2名を含む。

(10) その他

① 大学組織図

(令和6年5月1日現在)

I. 学部・学科等

大 学 院	文学研究科		日本文学専攻		修士課程 博士後期課程
	言語文化研究科		言語文化専攻	言語文化コース	修士課程
				ビジネス日本語コース	博士後期課程
	法学研究科		ビジネス法務専攻		修士課程 博士後期課程
	政治経済学研究科		政治経済学専攻		修士課程 博士後期課程
	経営学研究科		会計学専攻		修士課程
	データサイエンス研究科		データサイエンス専攻		修士課程 博士後期課程
	人間社会研究科		人間学専攻	人間行動学コース	修士課程
				臨床心理学コース	
				言語聴覚コース	
			実践福祉学専攻		博士後期課程
	仏教学研究科		仏教学専攻		修士課程 博士後期課程
	工学研究科		数理工学専攻		修士課程 博士後期課程
			建築デザイン専攻		修士課程
	環境学研究科		環境マネジメント専攻		修士課程
			環境システム専攻		博士後期課程
	教育学研究科		教育学専攻		修士課程
	薬科学研究科		薬科学専攻		修士課程 博士後期課程
			看護学研究科		看護学専攻
	通信教育部	人間社会研究科	人間学専攻		修士課程
実践福祉学専攻			修士課程		
仏教学研究科			仏教学専攻		修士課程
	環境学研究科	環境マネジメント専攻		修士課程	
大 学	文学部		日本文学文化学科		
	グローバル学部		グローバルコミュニケーション学科		
			日本語コミュニケーション学科		
			グローバルビジネス学科		
	法学部		法律学科		
			政治学科		
	経済学部		経済学科		
			経営学科 ※ 1		
	経営学部		経営学科		
			会計ガバナンス学科		
	アントレプレナーシップ学部		アントレプレナーシップ学科		
	データサイエンス学部		データサイエンス学科		
	人間科学部		人間科学科		
			社会福祉学科		
	ウェルビーイング学部		ウェルビーイング学科		
	工学部		サステナビリティ学科		
			環境システム学科 ※ 2		
			数理工学科		
			建築デザイン学科		
	教育学部		教育学科		
幼児教育学科					
薬学部		薬学科			
看護学部		看護学科			
通信教育部	人間科学部	人間科学科	心理学専攻		
			仏教学専攻		
		教育学部	社会福祉専攻		
専攻科（言語聴覚士養成課程）					
別科（日本語教育課程）					
別科（介護福祉士養成課程）					

※1 平成31年度経営学部経営学科に改組

※2 令和5年度工学部サステナビリティ学科に改組

II. 研究所・研究施設

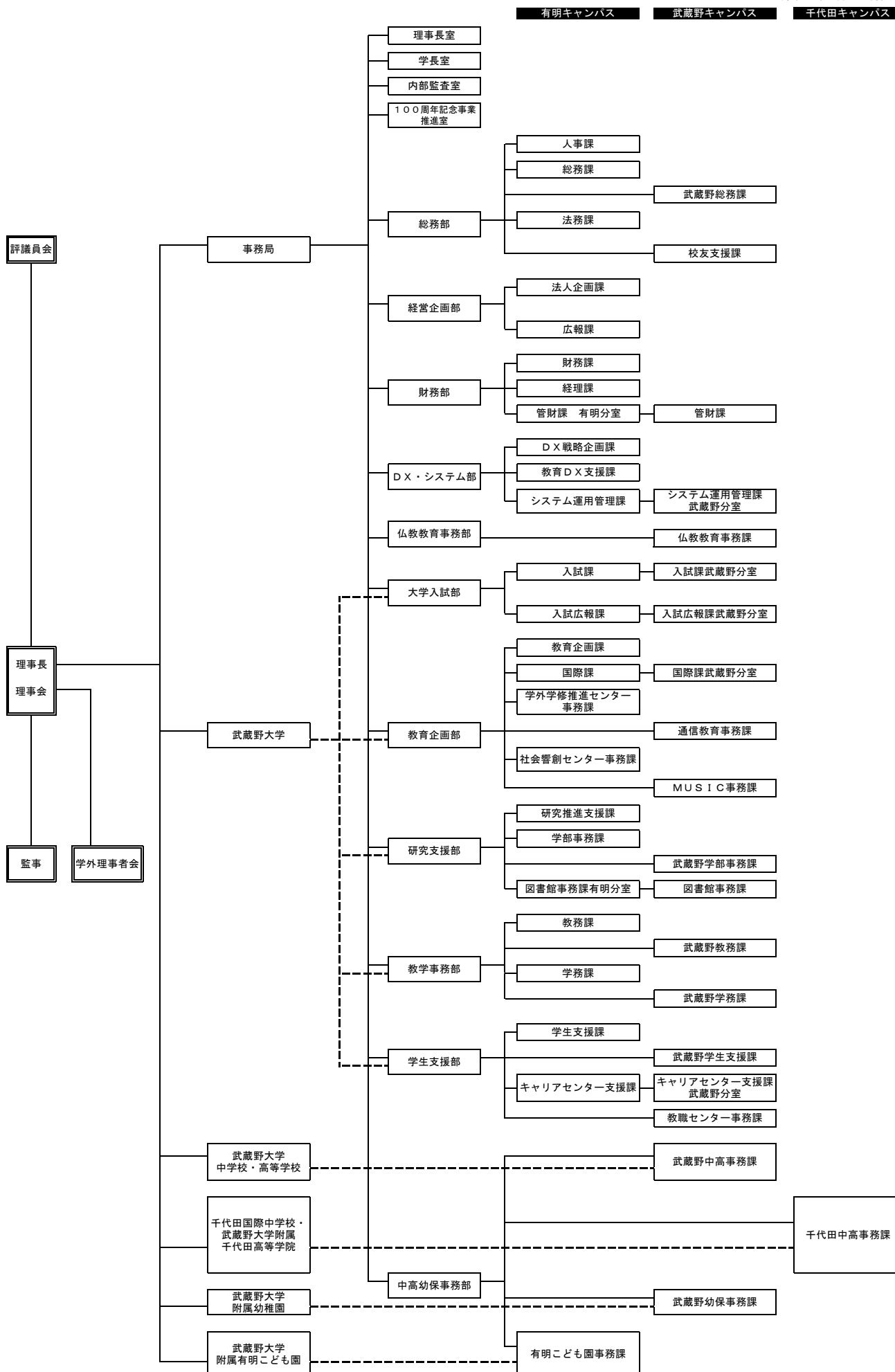
Musashino University Creating Happiness Incubation (武蔵野大学しあわせ研究所)
仏教文化研究所
国際総合研究所
能楽資料センター
教養教育リサーチセンター
武蔵野文学館
日本文学研究所
グローバルスタディーズ研究所
法学研究所
政治経済研究所
経営研究所
アントレプレナーシップ研究所
アジアAI研究所
心理臨床センター
人間科学研究所
認知行動療法研究所
サステナビリティ研究所
数理工学センター
建築研究所
教育学研究所
薬学研究所
臨床薬学センター
薬学キャリア教育研究センター
看護学研究所

III. センター・附属施設等

図書館
響学開発センター
国際センター
ランゲージセンター
学外学修推進センター
Musashino University Smart Intelligence Center (MUSIC)
産官学連携・研究推進センター
ボランティアセンター
キャリアセンター
教職センター
武蔵野大学孔子学院
体育センター
健康管理センター
社会響創センター

② 事務組織図

(令和6年7月1日現在)



2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

① 武蔵野大学・大学院

I. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

武蔵野大学は、ブランドステートメント及び教育目的に定める人材を育成するため、授与する学位ごとに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定めます。

また、本学で学ぶすべての学生が、多様な人々のなかで「アクティブな知」を獲得し、創造的に思考・表現する力を備えて、世界の課題に立ち向かうため、以下の力を身につけることとし、各学科のディプロマ・ポリシーにて具体的な方針を示します。

- 1 [知識・専門性]：学びの基礎力を基盤とした専門能力
- 2 [関心・態度・人格]：他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力
- 3 [思考力・判断力]：課題を多角的に捉え、創造的に考える力
- 4 [交感力・発信力]：多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

II. 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

武蔵野大学は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる力を身につけるために、以下のように教育課程を編成します。

初年次からの全学共通基礎課程「武蔵野 INITIAL」では、視野を広げること、スキルを身につけること、行動力を持つことを学ぶ科目群で、ディプロマ・ポリシーに示す1～4の力につながる学びの基礎力を養います。それを基盤として、学科科目では、専門能力を高めながら、世界の課題に立ち向かうために普遍的に求められる力を身につけられるように段階的、体系的な科目配置を行います。教育課程の実施にあたっては、「問う」「考動する」「カタチにする」「見つめ直す」という4つのステップを繰り返しながらともに学び、成長するという本学独自の学びのスタイル「響学スパイラル」の実践を通じて学びの効果を高めていきます。

III. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

武蔵野大学は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえた教育活動を実践するため、以下の者を受け入れます。

【求める学生像】

本学の建学の精神、教育目標を理解するとともに、育成する人材像に共感し、教育課程に積極的に取り組む姿勢を持つ者

【受け入れる学生に期待する能力・態度】

- 1 [知識・専門性] 各学科の教育を受けるのに必要な基礎知識を備えている
- 2 [関心・態度・人格] 他者と自己を理解し、自発的に踏み出す意欲を持つ
- 3 [思考力・判断力] 課題を多角的にとらえ、創造的に考える意欲を持つ
- 4 [交感力・発信力] 多様な人々のなかで、自らを考え表現・発信する意欲を持つ

【入学選抜の基本方針】

- ・ 各学部・研究科の教育目的に相応しい人材を多面的に審査・評価する
- ・ 基礎学力と専門教育に関係する教科の理解度、並びに人物の適性等について審査・評価する
- ・ 学力だけでは見出すことのできない能力や意欲、将来の可能性等を高校在学時の活動状況等から審査・評価する

② 武蔵野大学中学校・高等学校

I. 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ・ 「明るい知性」と「豊かな情操」とを兼ね備えた「聡明にして実行力のある人物」であること。
- ・ 「人の幸せを願う心」「自己中心、自己絶対視を改める心」「正しい判断力」「良き社会人として通用する自立心」をもつ人物であること。
- ・ 何事にも真摯に取り組み、社会の幸せを希求する教養溢れる自律した人物であること。
- ・ 論理的思考力を身に付け、課題を正しく理解して解決を目指して挑戦できる人物であること。

II. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ 各教科とも学びの基盤となる「知識と技能」を十分に習得できるように編成する。
- ・ How に留まらず Why を重視する学びを实践、論理的思考力を育成する。
- ・ 宗教教育を拠り所の一つとし、課題解決のための探究活動を実施する。
- ・ 探究活動について、課外活動も積極的に実施する。

III. 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ・ 本校の教育を受けるに足る資質と能力が十分にある生徒。
- ・ 人格形成のための六つの徳目「布施・持戒・忍辱・精進・禅定・知恵」の实践に共感する生徒。
- ・ 常に挑戦し続け、変化を恐れず、社会貢献するために自立する気持ちのある生徒。

③ 千代田国際中学校・武蔵野大学附属千代田高等学院

I. 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ・ 自他ともに心豊かに生きることの出来る社会の実現を希求する人物である。
- ・ 真のオーナーシップとグローバル性を持つ人物である。

II. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ 人生の目的（Purpose）を見つけるため、PBL／SBL の学習を通じて、Why にこだわる学びを实践し、実社会で生きて働く知識の習得と活用を目指す。
- ・ 多様性（Diversity）を重んじ、相手の考えを尊重できる真のコミュニケーション力を養う。そのために4技能を意識し、国際社会で通用する語学力を育成する。
- ・ 挑戦（Challenge）を楽しみ、失敗から学び続ける姿勢を育成する。
- ・ データを的確に読み、論理的に物事を考える姿勢を育成するため、ICT や AI を活用した最先端の学びを追求する。

III. 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ・ チャレンジすることを楽しみ、世界に貢献しようとする姿勢を持つ人
- ・ 相手を否定せず、多様性を認めることが出来る人
- ・ なぜ学ぶのかという目的意識を持ち、高い学力と広い知識や教養を身に付けるために意欲的に

取り組む人

- ・ 本校の教育内容を理解し、入学後も勉学に励み、世界に貢献する姿勢を持つ人
- ・ 様々な活動（生徒会活動、部活動、資格取得、課外活動）に積極的に参加し、入学後もそれらの活動の成果が期待できる人

④ 武蔵野大学附属幼稚園

「こころとからだを整え、生きる力を学ぶ」を教育目標に掲げ、仏教行事・伝統行事などを通じて、慈悲の心、利他の心を育み、すべてのいのちがつながりあっている世界の中で、感謝の思いで手を合わせる子どもを育てる。

具体的活動

- ・ 感動し、想像し、表現する
豊かな自然や動物とのふれあいを通じて、「いのち」のつながりやすばらしさに気づき、「作る、壊す、工夫する」を繰り返しながら、想像力を育み、感じたことを自由に表現できる力を育む。
- ・ 仲間とともに創り出し、育ちあう
思い切りからだを動かしながら、バランス感覚やしなやかな動きを身につけ、友達とのかかわりを通して互いの思いに気づき、人と共にいる喜びを感じ、ともに育ちあう。
- ・ 好奇心を持ち、新しい世界を知り、未来の扉を開く
遊びや様々な体験を通して新しい世界に気づき、絵本に親しんだりお話を聞きながら豊かな言葉の世界を広げる。

⑤ 武蔵野大学附属有明こども園

「響き合う保育」の教育理念の下、一人ひとりの個性を大切にしながら、子ども同士、子どもたちと保育者、保護者が互いに育ちあうことを目指す。具体的には以下の3つの取り組みをとおして、小学校からの教育課程に積極的に取り組む姿勢と、予測不可能な時代に必要な「生きる力」の基礎を育む。

- ・ 思う存分遊び込み、生きる力を身に付ける
自ら「遊び込む」ことで、ものの不思議さに気づき、好奇心・探究心を育む。また、楽しさや達成感を味わうことが自信につながり、“生きる力”の根源でもある自己肯定感を高める。
- ・ 本物に触れ、豊かな感性を育てる
武蔵野大学各学部と連携して、学内外の各分野の専門家による“わくわくプログラム”で本物に触れる体験を通して、豊かな感性を育む。
- ・ 仏の心を大切に
浄土真宗本願寺派の大学附属こども園として、生命の尊さに気づき、万物の恵みに感謝して手を合わせる、心優しい子どもを育てる。

(2) 中期的な計画及び事業計画の進捗達成状況

① 武蔵野大学・大学院

武蔵野大学・大学院では6つのチャレンジを掲げており、各チャレンジの主な取組の進捗・達成状況は以下のとおりである。

1) チャレンジ1 自己と世界を問う

- ・ 中期計画として「SDGs の 17 目標に向けての全学的な取組の推進」「自己の生き方を問いつつ Happiness Creator として歩む志、能力の確立」を掲げ、令和6年度の事業計画では、武蔵野大学 SDGs 白書の制作やしあわせ研究所シンポジウムの開催、授業リフレクションの結果を踏まえた学科FDの実施などを挙げた。
- ・ 武蔵野大学 SDGs 白書は、本学が推進する SDGs の推進に係る全学的な取組や各学科の教育事例を集約して掲載し、令和7年3月に大学ホームページ上に公開する。
- ・ 「しあわせ研究所シンポジウム」や「THE WELL-BEING WEEK」等の国際的シンポジウムを開催し、目標以上の研究者が参加した。
- ・ 授業理解度の割合、授業の主体的取組等は目標値を達成することができた。響学スパイラルの取組は学内に浸透し、各授業内で実践されている。
- ・ 今後は、学修者の主体的な学びの姿勢を引き出し知識・能力を涵養する学修の仕組みづくりに寄与することを目的とし、響学開発センターを中心に教育支援・開発を強化しスチューデント・サクセスを実現する響創的な学修を推進する。

2) チャレンジ2 未来の世界を創る creative な実践者輩出

- ・ 人材輩出においては、中期計画として「学修者本位のカリキュラムの構築と教育力の向上」と「未来の世界を担う creative な知をカタチにできる人材の輩出」を掲げ、前者では武蔵野 INITIAL のカリキュラム改善、副専攻の2コース目となる仏教プラクティスコース開設、教員評価プログラム「MU SDGs Best Teacher Award」を実施した。後者では学科教員が企画するフィールド・スタディーズ (FS) について目標数値を超えるプログラムを実施、就職キャリア支援において、キャリアセンターが提供する講座を通じて参加したビジネスコンテストで入賞と佳作を2件受賞、昨年に続き公務員を多く輩出、「大学通信」指定400社・上場企業への就職が過去最多となった。また、アントレプレナーシップ学部教員と連携してイベントを実施するとともに、起業相談受付体制を整備することで、起業家輩出に向けた組織的な対応も行った。第二期中期計画においても多様な人材輩出に向け、全学的な取組を強化する。
- ・ 研究推進については、Creative 研究計画推進委員会を中心に検討を行い、若手研究者の確保・育成を目的とした在外研究制度の利用促進などを通じて、本学における研究力の向上に努めた。また、本学の研究活動にかかる全学的な方針・施策等を横断的かつ網羅的に検討・審議する制度を再構築し、更なる研究資金獲得のためリサーチ・アドミニストレーター (URA) を配置した。その他、本学の研究活動について積極的に外部に発信するため、大学ホームページにて外部からの研究資金の獲得状況等を公表すると共に、業務提携先である技術移転機関 (TLO) と連携のうえ、企業等との共同研究等の機会創出のための産官学連携サロン等を企画・立案し、次年度以降の開催に向けて準備を進めている。

3) チャレンジ3 AI 世界を先導する MUSIC

- ・ 中期計画「情報教育・学習環境の整備」について、施設設備関連の事業計画「教室環境のスマート化」「教室定員に対する無線 LAN セッション数及び電源の確保」は整備が完了した。また、「学生コモンズ等共有スペースの整備」は MUSIC 計画推進小委員会の中にタスクフォースを結成して SI プロトタイプ教室の整備・授業検証を実施した。
- ・ 中期計画「教育の情報・スマート化」について、事業計画「BYOD を活かした響学スパイラル教育の全学推進」「LMS、AI サービス、動画コンテンツ等を活かした教育の実践」は、全学に展開を推進した。
- ・ 中期計画「AI-Ready-University を目指した情報・AI 教育のブランド化」について、事業計画「MUSIC 発次世代型情報・AI 教育の全学展開とサブメジャー化」は副専攻（AI 活用エキスパートコース）修了生の第一期生 72 人及び第二期生 75 人を輩出した。なお、第一期生の情報分野への就職内定者は 34 人（47.2%：修了生に対する割合）となった。

4) チャレンジ4 Global & Universal

- ・ 中期計画として「世界に羽ばたき、世界を迎え入れる学部学科でのグローバル人材育成」「国内授業における外国語科目の強化」「ユニバーサルなキャンパス空間と学生支援」を掲げて、留学生が必要とする支援に関する調査と支援の実施、要配慮学生を対象としたキャンパス施設及び支援に関するニーズ等の調査や環境の整備を進めた。
- ・ 学生の海外経験については、円安等の影響により目標達成が難しい中でも、海外留学・研修に参加する学生が増加傾向にある。また、留学生については、アンケートで留学生支援施策調査を行うとともに、留学生と日本人の交流会を実施するなど、質の充実に努めた。
- ・ 障害者差別解消法改正に伴う合理的配慮に関する規程制定、体制整備、その運用とともに、自己点検を行った。
- ・ ユニバーサルなキャンパスの実現に向けて、Diversity Equity & Inclusion の啓発に活用するリーフレットの作成や、キャンパス調査報告書の作成を行った。
- ・ 教員のユニバーサル化においては、ワークライフバランスを考える研修会を FDSD 研修として実施した。

5) チャレンジ5 MU-GEN (Musashino University GENERations) につながる Infinite Linking

- ・ 中期計画として「大学の枠を超えてつながる新設プラットフォームを活用した各種連携」「武蔵野サンガの醸成」を掲げ、事業計画「卒業生ニーズを把握し、通信教育部、生涯学習講座等を活用した卒業生支援」「100 周年記念事業を契機とした同窓会組織の活性化と、卒業後の継続的な情報接触を通じた関係性の強化」は、多くの事業で実施展開段階に至った。
- ・ 卒業生向けインターネットラジオという新たなプラットフォームを展開し、コンテンツの拡充とともに、新たに開設した縁バースキャンパスにはアーカイブ動画を設置した。
- ・ 高大接続事業として実施した「情報教育ワークショップ」には全国の高校・大学関係者が参加した。
- ・ 卒業生との繋がりについて、卒業生インタビュー記事の学内掲載を開始した。

6) チャレンジ6 共に5つのチャレンジを実現する学生の安定的な確保

- ・ 中期計画として「武蔵野大学のビジョンの社会的認知と共鳴する優秀な人材の確保」「Society 5.0時代のニーズに即応した学部学科の新設再編」「社会的評価指標の向上」「社会に輩出する学生数の減耗の極小化」を掲げ、事業計画「入学定員を満たす入学者の確保」「建学の精神、アフターコロナの社会変化、ICTを用いた学び方の変化等を見通したニーズの把握」「THE 大学ランキング等の社会的指標向上策のモニタリング」等は、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・ 大学入試について、志願者は前年度比 102%、3 年連続の増加となった。
- ・ 学部学科等の再編等について、ウェルビーイング研究科及び通信教育部国際データサイエンス学部の令和 8 年 4 月開設に向けて準備を行った。
- ・ 「THE 大学ランキング」について、131-140 位となった。
- ・ 新たなターゲット校への高大接続プログラムを実施した。
- ・ 奨学金制度について、学内奨学金審査委員会が安定稼働、細則に基づく運用を実施するとともに、学内奨学金見直し検討委員会にて制度見直しを実施した。
- ・ 障害者差別解消法改正に伴う学内規程を制定、障害学生支援委員会の設置、学期ごとに障害学生支援委員会を開催し、自己点検を実施した。

② 武蔵野大学中学校・高等学校

- ・ 中期計画として「真なるグローバル人財育成のためのシステムの構築」「サイエンスを身につけるためのシステムの構築」「教員が改革推進に対して一致団結して取り組む体制の確立」等を掲げ、事業計画の「コースの再編と具体的なカリキュラムの構築」「国公立・最難関私立への指導強化」「各授業の品質と大学進学指導力の向上」「短期・長期留学制度の充実と海外留学生の受け入れ促進」「校内行事の整理・削減と一貫性の構築」「外部企業との連携」「社会に貢献する人材になるためのオリジナル教育の開発」等について、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・ 施設設備の整備においては、ICT 機器等の整備について、順調に継続して実施することができた。また、駐輪場付体育施設及び新図書館が完成した。
- ・ 広報活動について、校長講演に加え、在校生のプレゼン等、内容を工夫して、学校全体で取り組む説明会を繰り返し展開した。

③ 千代田国際中学校・武蔵野大学附属千代田高等学院

- ・ 中期計画として「国内難関大学・海外大学への合格力を高める」「想像力と教養力の育成」「教員が改革推進に対して一致団結して取り組む体制の確立」等を掲げ、事業計画の「コースの再編と具体的なカリキュラムの構築」「外部企業等との連携」「学外広報の強化による志願者増」等について、実施展開に至り志願者増・入学者増につなげた。
- ・ 設備の整備においては、令和 7 年度のコース整備等に合わせて理科室や研究設備の整備と本館教室の改修等を行った。

④ 武蔵野大学附属幼稚園・慈光保育園

- ・ 中期計画として「目標を具現化した競争力のある教育を企画・実施して、園児を成長させる」「きめ細かい保育を企画・実施して、園児を成長させる」「保護者も満足できる教育の実施」等を掲げ、令和6年度事業計画に取り組んだ。預かり保育については利用者が増加しており、社会経済状況と保護者ニーズの高さといえる。
- ・ 課外活動のサッカー、体操、チアリーディング、書道、英語の5教室については、活動内容を拡充し参加者の増につながった。
- ・ 「にこにこルーム」については、絵本や音楽など文化プログラムに加え、専門講師による体操プログラムを加え、好評を得ており、入園者率は90%となっている。

⑤ 武蔵野大学附属有明こども園

- ・ 中期計画として「園児と保護者の満足度が高まる教育・保育の質の向上を目指しつつ、円滑で安定した運営を行う」「園児が自発的に遊び込み、生きる力を身につけられるよう、わくわくプログラムを実施するなど、教育・保育環境を充実する」「地域に開かれた施設として、地域子育て支援プログラムを通し、こどもの健全育成及び子育て世代の家庭の支援を図る」等を掲げ、令和6年度事業計画に取り組んだ。
- ・ 本園の教育的特色である「わくわくプログラム」は、武蔵野大学の大学教員をはじめとする内外の講師を迎え、全11種、のべ41回の多彩なプログラムを開催した。
- ・ 教育実習生は過去最多となる年間4人を受け入れた。内訳は本学1人、他の養成校が3人となっており、徐々に本園が教育実習先として認知されてきた様子が伺えた。

⑥ 法人

- ・ 中期計画として「仏教精神の普及」、「ガバナンス構築」、「教育環境の整備・構築」、「経営指標に基づく財政の安定化」、「各設置校及び法人のDX推進を支えるインフラ等整備」及び「100周年記念事業の企画推進とブランディング」等を掲げ、令和6年度事業計画に取り組んだ。
- ・ 事務職員人事制度における階層別研修を実施するための基盤として、研修コンテンツを集約し、効率的な学習状況の管理・分析を行うことのできるプラットフォームシステムを導入した。
- ・ 事務局における人事計画に基づき、新卒採用及び中途採用を積極的に行い、優れた人材を雇用し人員配置を進めた。
- ・ 各部門における就業規則や関連規程等の見直しを図り、教職員が安心して働ける環境整備を推進するとともに、統一した労務関連のルールを明確にするため各種規程等の統廃合を行った。
- ・ 令和7年4月改正の私立学校法に対応し、寄附行為及び関連重要規程を整備した。併せて、学校法人武蔵野大学グランドデザインの実現に向けた法人経営及び教学改革の推進のため、常務理事体制の見直しや大学の教学ガバナンスの再構築を実施した。
- ・ 施設設備では、令和6年度施設設備整備計画に基づき、施設設備の改修工事等を実施した。大型施設案件では、武蔵野中高駐輪場付体育施設・図書館工事が令和7年1月15日に完工。駐輪場付体育施設は9月より仮使用を開始し、図書館については、令和7年4月から開設する。また、武蔵野キャンパス新大学図書館は、11月に基本設計が完了し、令和7年8月からの着工に向け、実施設計に取り掛かっている。

- ・ 財務については、財政分岐点指標の健全性に留意しつつ、決定した大型事業計画を反映し、長期財政 10 年計画を 2 月に更新した。事業計画に基づき、創立 100 周年の当年度として取引先等への募金活動を積極的に進めたほか、資金運用方針に基づく運用金融商品の購入により、学納金以外の収入の多様化を進めた。
- ・ 学校法人武蔵野大学 D X 推進基本計画詳細に基づき、D X 推進委員会及び 4 つの専門委員会の下、メタバース上での縁バースキャンパスの開設、通信教育課程における S R M システム「MU－P L A N」や学修コンシェルジュ機能の構築、ワークフローシステムや人事システムの製品選定、生成 A I 活用推進等に取り組んだ。
- ・ 創立 100 周年記念事業として、縁バースキャンパスの開設、スクールソング（君の花咲かせて）の制作、並びに築地本願寺内への記念碑設置等を実施した。また、令和 6 年 6 月に築地本願寺と共催にて能楽講演（親鸞聖人－夢と教え－）を行い、令和 6 年 12 月に創立 100 周年記念法要、式典及び祝賀会を開催した。

3. 財務の概要

(1) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位:百万円)

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
固定資産	67,057	70,422	71,862	73,323	76,639
流動資産	8,573	7,510	8,332	8,710	8,034
資産の部 合計	75,630	77,932	80,194	82,034	84,674
固定負債	13,158	12,646	12,237	11,656	11,632
流動負債	4,541	5,154	4,899	5,231	5,275
負債の部 合計	17,699	17,800	17,136	16,887	16,907
基本金	67,896	69,089	70,611	72,207	75,076
繰越収支差額	-9,964	-8,956	-7,553	-7,060	-7,309
純資産の部 合計	57,932	60,132	63,058	65,147	67,767
負債及び純資産の部 合計	75,630	77,932	80,194	82,034	84,674

注 本表に記載した数値は、原則として単位未満を四捨五入した。したがって合計と内計が一致しない場合がある。(以下同様)

(2) 資金収支計算書の状況と経年比較

【収入の部】

(単位:百万円)

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学生生徒等納付金収入	13,340	14,305	15,559	15,548	16,394
手数料収入	577	518	519	528	539
寄付金収入	259	135	190	194	338
補助金収入	2,881	3,046	3,324	3,275	3,610
資産売却収入	3,342	744	750	500	600
付随事業収入	205	256	294	282	357
受取利息・配当金収入	26	44	55	58	79
雑収入	417	704	499	447	408
借入金等収入	0	1	1	0	3,424
前受金収入	2,736	3,252	2,982	3,411	3,479
その他の収入	6,805	6,720	1,625	1,936	19,451
資金収入調整勘定	-3,158	-3,150	-3,714	-3,441	-3,807
前年度繰越支払資金	9,617	7,388	4,547	5,465	5,829
収入の部 合計	37,047	33,963	26,630	28,203	50,705

【支出の部】

(単位:百万円)

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費支出	7,866	8,265	8,802	8,962	9,293
教育研究経費支出	4,634	5,324	5,754	5,626	6,457
管理経費支出	872	967	1,069	1,504	1,522
借入金等利息支出	64	59	55	51	50
借入金等返済支出	369	369	470	469	3,520
施設関係支出	2,690	3,353	439	480	1,756
設備関係支出	510	746	886	376	856
資産運用支出	12,243	8,921	4,089	4,438	21,860
その他の支出	1,631	2,363	1,545	1,744	1,826
資金支出調整勘定	-1,219	-953	-1,944	-1,276	-1,560
翌年度繰越支払資金	7,388	4,547	5,465	5,829	5,124
支出の部 合計	37,047	33,963	26,630	28,203	50,705

(単位:百万円)

(a) 前年度繰越支払資金	9,617	7,388	4,547	5,465	5,829
(b) 翌年度繰越支払資金	7,388	4,547	5,465	5,829	5,124
差異 (b)-(a)	-2,229	-2,841	918	364	-705

(3) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:百万円)

区 分			令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	13,340	14,305	15,559	15,548	16,394
		手数料収入	577	518	519	528	539
		特別寄付金収入	210	103	115	180	298
		一般寄付金収入	1	0	0	0	0
		経常費等補助金収入	2,867	3,033	3,323	3,270	3,609
		付随事業収入	205	256	294	282	357
		雑収入	417	704	499	447	408
	教育活動資金収入計		17,617	18,918	20,309	20,255	21,607
	支出	人件費支出	7,866	8,265	8,802	8,962	9,293
		教育研究経費支出	4,634	5,324	5,754	5,626	6,457
管理経費支出		872	967	1,069	1,504	1,522	
教育活動資金支出計		13,372	14,556	15,625	16,092	17,273	
差引		4,245	4,362	4,684	4,163	4,334	
調整勘定等		180	-159	-65	288	-132	
教育活動資金収支差額		4,425	4,203	4,619	4,451	4,203	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	48	32	74	14	40
		施設設備補助金収入	13	13	1	5	1
		施設設備売却収入	0	0	0	0	0
		第 2 号基本金引当特定資産取崩収入	40	1,035	400	250	1,202
		施設設備整備引当特定資産取崩収入	6,308	3,306	0	97	8,671
	施設整備等活動資金収入計		6,410	4,386	476	366	9,913
	支出	施設関係支出	2,690	3,353	439	480	1,756
		設備関係支出	510	746	886	376	856
		第 2 号基本金引当特定資産繰入支出	1,380	580	810	815	1,980
		施設設備整備引当特定資産繰入支出	3,788	2,516	1,942	2,083	13,893
	施設整備等活動資金支出計		8,367	7,195	4,077	3,754	18,485
	差引		-1,958	-2,808	-3,602	-3,388	-8,572
調整勘定等		-45	-133	212	-177	-5	
施設整備等活動資金収支差額		-2,003	-2,942	-3,390	-3,565	-8,578	
小計 (教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)			2,422	1,261	1,230	886	-4,375
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	0	1	1	0	3,424
		有価証券売却収入	3,342	744	750	500	600
		第 3 号基本金引当特定資産取崩収入	1	803	298	948	156
		退職給与引当特定資産取崩収入	0	254	0	0	1,994
		修学旅行費等預り資産取崩収入	0	0	0	0	0
		預り金受入収入	169	77	45	23	30
		その他の収入	21	949	598	256	7,128
		小計	3,532	2,828	1,692	1,728	13,332
		受取利息・配当金収入	26	44	55	58	79
		収益事業収入	0	0	0	0	0
	その他の活動資金収入計		3,558	2,872	1,746	1,785	13,411
	支出	借入金等返済支出	369	369	470	469	3,520
		有価証券購入支出	0	4,741	1,198	300	300
		第 3 号基本金引当特定資産繰入支出	245	740	51	978	378
		退職給与引当特定資産繰入支出	47	339	27	106	2,107
		預り金支払支出	6	53	123	131	76
		その他の支出	7,399	672	134	272	3,301
		小計	8,067	6,915	2,003	2,257	9,682
		借入金等利息支出	64	59	55	51	50
		その他の活動資金支出計		8,131	6,975	2,058	2,308
	差引		-4,573	-4,102	-312	-523	3,680
	調整勘定等		-79	0	0	0	-10
	その他の活動資金収支差額		-4,651	-4,102	-312	-523	3,670
支払資金の増減額 (小計＋その他の活動資金収支差額)			-2,229	-2,841	918	362	-705
前年度繰越支払資金			9,617	7,388	4,547	5,465	5,829
翌年度繰越支払資金			7,388	4,547	5,465	5,829	5,124

(4) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位:百万円)

区 分			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動収支	収入	学納金	13,340	14,305	15,559	15,548	16,394
		手数料	577	518	519	528	539
		寄付金	211	103	116	186	310
		経常費等補助金	2,867	3,033	3,323	3,270	3,609
		付随事業収入	205	256	294	282	357
		雑収入	419	391	501	448	409
	教育活動収入計 ①		17,619	18,605	20,311	20,261	21,619
	支出	人件費	7,913	8,350	8,829	9,068	9,407
		教育研究経費	6,315	7,238	7,563	7,513	8,327
		管理経費	1,045	1,171	1,203	1,609	1,644
徴収不能額等		28	18	21	34	29	
教育活動支出計 ②		15,301	16,778	17,616	18,225	19,406	
教育活動収支差額 ③=①-②		2,319	1,827	2,696	2,036	2,213	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	26	44	55	58	79
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計 ④		26	44	55	58	79
	支出	借入金等利息	64	59	55	51	50
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計 ⑤		64	59	55	51	50
教育活動外収支差額 ⑥=④-⑤		-38	-15	-1	6	29	
経常収支差額 ⑦=③+⑥		2,281	1,811	2,695	2,043	2,242	
特別収支	収入	資産売却差額	241	36	0	0	0
		その他の特別収入	74	397	254	94	431
	特別収入計 ⑧		316	433	255	94	431
	支出	資産処分差額	128	44	23	48	53
		その他の特別支出	2,923	0	0	0	0
特別支出計 ⑨		3,051	44	23	48	53	
特別収支差額 ⑩=⑧-⑨		-2,735	389	232	46	378	
基本金組入前当年度収支差額 ⑫=⑦+⑩		-454	2,201	2,926	2,089	2,620	
基本金組入額合計 ⑬		-2,198	-1,315	-1,840	-1,598	-2,946	
当年度収支差額 ⑮=⑫+⑬		-2,652	885	1,086	491	-326	
前年度繰越収支差額 ⑯		-7,316	-9,964	-8,956	-7,553	-7,060	
基本金取崩額 ⑰		3	123	318	1	77	
翌年度繰越収支差額 ⑱=⑮+⑯+⑰		-9,964	-8,956	-7,553	-7,060	-7,309	
事業活動収入			17,961	19,081	20,620	20,413	22,130
事業活動支出			18,415	16,881	17,694	18,324	19,510

(5) 財務比率の経年比較

- 資産運用収入には有価証券売却差額、有価証券処分差額を含み、補助金は経常費等補助金と施設設備補助金の合計額としている。

(各比率の見方)

- I. 事業活動収支差額比率は、経営上、財政的に余裕があるかないかを診断する重要な指標である。
 II. 学納金比率、III. 補助金比率、IV. 資産運用収入等比率は、収入構造(体質)を見るための指標である。
 V. 人件費比率 ~ IX. 基本金組入率の支出比率は、事業活動収入(又は学納金)が適切な割合で使用されているかを見る指標である。

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
I	事業活動収支差額比率 (事業活動収入-事業活動支出) / 事業活動収入	14.2%	10.2%	11.8%
II	学納金比率 (学納金 / 事業活動収入)	75.5%	76.2%	74.1%
III	補助金比率 (補助金 / 事業活動収入)	16.1%	16.0%	16.3%
IV	資産運用収入等比率 (資産運用収入 / 事業活動収入)	0.3%	0.3%	0.5%
V	人件費比率 (人件費 / 事業活動収入)	42.8%	44.4%	42.5%
VI	人件費依存率 (人件費 / 学納金収入)	56.7%	58.3%	57.4%
VII	教育研究経費比率 (教育研究経費 / 事業活動収入)	36.7%	36.8%	37.6%
VIII	管理経費比率 (管理経費 / 事業活動収入)	5.8%	7.9%	7.4%
IX	基本金組入率 (基本金組入額 / 事業活動収入)	8.9%	7.8%	13.3%

(6) 有価証券の状況

①総括表

(単位：円)

種類	当年度（令和7年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を 超えるもの (うち満期保有目的の債券)	199,771,000 (199,771,000)	199,846,900 (199,846,900)	75,900 (75,900)
時価が貸借対照表計上額を 超えないもの (うち満期保有目的の債券)	16,411,283,000 (16,411,283,000)	15,819,034,628 (15,819,034,628)	-592,248,372 (-592,248,372)
合計 (うち満期保有目的の債券)	16,611,054,000 (16,611,054,000)	16,018,881,528 (16,018,881,528)	-592,172,472 (-592,172,472)
時価のない有価証券	17,655,000		
有価証券合計	16,628,709,000		

②明細表

(単位：円)

種類	当年度（令和7年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	12,011,054,000	11,651,280,800	-359,773,200
株式	-	-	-
投資信託	1,600,000,000	1,405,308,990	-194,691,010
貸付信託	-	-	-
委託運用	3,000,000,000	2,962,291,738	-37,708,262
その他	-	-	-
合計	16,611,054,000	16,018,881,528	-592,172,472
時価のない有価証券	17,655,000		
有価証券合計	16,628,709,000		

(7) 借入金の状況

[主な借入金残高] ※1,000千円以上

(単位：百万円)

借入先	借入目的	借入金額	令和6年度末 借入残高
日本私立学校振興 ・共済事業団	有明校舎建築 (H22)	2,800	778
龍谷学事振興金庫	千代田高中施設設備 (H30)	200	119
日本私立学校振興 ・共済事業団	有明校舎建築 (R1)	2,789	2,490
日本私立学校振興 ・共済事業団	武蔵野中高施設設備 (R6)	374	374
市中金融機関	有明校舎建築 (R6)	3,050	3,000
合計		9,213	6,762

(8) 寄付金(募財)の状況

創立100周年記念募金

目標額：20億円

期間：8年間(3年目) 令和12年3月まで

対象者：(1) 本学学生、生徒、園児の父母 (2) 本学教職員 (3) 法人 (4) その他有志

寄付金額：256百万円 647件

累計額：452百万円 2,482件 達成率22.6%

(9) 補助金の状況

(単位:千円)

補助金の種類	補助金額
私立大学等経常費補助金	1,345,046
一般補助	1,171,841
特別補助	173,205
成長力強化に貢献する質の高い教育	300
社会人の組織的な受入れ	4,212
大学等の国際交流の基盤整備	25,935
大学院等の機能の高度化	134,065
令和6年能登半島地震、梅雨前線、9月豪雨からの復興支援	693
私立大学改革総合支援事業	8,000
修学支援授業料等減免費交付金	446,044
国庫からのその他の補助金	3,194
地方公共団体等からの補助金	1,815,513
私立学校経常費補助金	999,485
私立学校等授業料軽減補助金	410,184
その他の補助金	405,844
合 計	3,609,797

(1 0) 関連当事者等との取引

関連当事者

該当なし

(1 1) 出資会社の状況

会社等の名称 : 株式会社エムユービジネスサポート

事業内容	資本金等	出資割合	取引の内容
建物の清掃・警備・保守管理業務、 事務受託業務、学生生活支援事業、 損保代理店業務等	10,000千円	100%	清掃・警備・保守管理業務、 事務受託業務、学生生活支援事業、 損保代理店業務等の委託等